

九州歯科技工専門学校自己点検・自己評価結果（令和4年度）

評価対象期間：令和3年11月1日～令和4年10月31日

自己点検・評価日：令和4年11月5日

自己点検・評価者：藤原 弘明、堀 慎次、今村 友亮

（1）教育理念・目標

評価項目	評点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
特記事項 今年度、HP をリニューアルし、以前よりもわかりやすい配置にしたことで、周知に関しての認知度も向上できたと考えられる。	

（2）学校運営

評価項目	評点
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
人事・給与に関する規定等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5
情報システム化等による業務の効率化が図れているか	4
特記事項 教職員一同、学校の理念などを共通認識として日々教育に取り組んでおり、次年度以降もさらに邁進していきたい。	

(3) 教育活動

評価項目	評点
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	5
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
特記事項 若干の教員不足については未だ解決できていない課題であり、早急に解決が求められる。その一方で今年度は、全国模試で学校別順位1位や彫刻コンテストで全国大会予選通過など、今までの指導の改革の結果が出始めた年となり、今後もこの調子で邁進していきたい。今年度のデジタル歯科技工の実習はメーカー主導で行われ、より実践的な教育ができたと考えられる。今後も卒後即戦力となる人材を輩出できるような学校にしていきたい。	

(4) 学修成果

評価項目	評点
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	5
退学率の低減が図られているか	5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5
特記事項 就職率に関しては今年度も 100%を維持しているため問題はない。国家試験合格率は、新卒既卒共に 100%の合格率だったので、これを維持する。次年度も模擬試験や彫刻コンテストで全国トップを狙うよう指導していきたい。	

(5) 学生支援

評価項目	評点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	5
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5
保護者と適切に連携しているか	5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
企業等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	5
特記事項 今年度は、企業説明会を学校側で設け、就職先となる企業の一部に希望順で発表したもらい、より具体的な就職内容についての説明をしてもらった。さらには、インターンシップも設け、学生・企業ともにより理解が深まるような機会を設けた。学生・企業ともに非常に評判がよかった。次年度は更に規模を大きくし、充実した内容で行いたい。また、企業奨学金制度を設け、学生の専攻科進学への一助になるようにした。 今年度から、教育訓練給付金制度に対応できるようになり、1名の学生がそれを利用するようになった。入学者数を増やすための貴重な制度なので、今後継続させて周知していきたい。	

(6) 教育環境

評価項目	評点
施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	5
防災に対する体制は整備されているか	4
特記事項 今年度はデザインソフト2個、切削加工機1台、シタリングファーンレス1台を導入した。これにより、レジンおよびジルコニアの一貫工程を学内で経験することができ、より、デジタル歯科技工士について深い理解ができると考えられる。臨床実習では、歯科医療現場における歯科技工士の立場を明確に理解させるように今年度同様に次年度も取り組む。	

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評点
学生募集活動は、適正に行われているか	5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
学納金は妥当なものとなっているか	5
特記事項 各種 SNS にて学校の雰囲気や随時発信していることもあり、アットホームな校風、少人数精鋭体制が受け入れられている。また、模試の結果やコンテストの結果も随時発信しており、技術・学力面のサポート体制のアピールも十分に行っている。	

(8) 財務

評価項目	評点
財務状況を教職員が把握できているか	4
特記事項 全員現状の財務状況は共有されており、特に問題はない。	

(9) 法令等の遵守

評価項目	評点
法令、専修学校設置基準等の遵守および適切な運営がなされているか	4
自己評価結果を公開しているか	4
個人情報に関してその保護のための対策は行っているか	4
特記事項 特に大きな問題はないと考えられる。	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評点
地域のボランティア活動等に参加しているか	—
特記事項 本年度は新型コロナの影響もありボランティア活動等の参加は行っていないので、評価対象外にしている。	

(11) 国際交流

評価項目	評点
海外のデンタルショー等に参加しているか	—
特記事項 本年度は新型コロナの影響もあり海外デンタルショーへの参加は行っていないので、評価対象外にしている。	

(12) 総 評

職業実践専門課程の認可、専門実践教育訓練給付講座に指定され、今までの学校の様態とは大きく変わった。国試対策も力をいれ、模擬試験での全国トップやコンテスト全国大会予選通過などの結果を残すことができた。今後も歯科技工業界にとってリーダー的活躍をするような人材を多く輩出できるようにしていきたい。

【採点基準】

5：非常に良い、4：良い、3：普通、2：悪い、1：非常に悪い、—：非該当